

会議記録

会議名	第1回 やいた市民会議
日時	平成 25年 5月 28日 19時 ~ 20時 40分
場所	市役所 3階 第一委員会室
参加者	市 遠藤市長、江面総合政策課長、横塚秘書政策班長、 秘書政策班 手塚副主幹、杉山主査、室井主事 やいた市民会議委員 17名

1. 開 会 進行：江面総合政策課長

2. 委嘱状交付

市長が各委員に委嘱状を交付しました。



3. あいさつ要旨（遠藤市長）

皆様こんばんは。この度は、やいた市民会議の委員をお引き受けいただきありがとうございます。現在の矢板市は、シャープ栃木工場の規模縮小や指定廃棄物の最終処分場の問題等、これまでにない大きな問題を抱えています。人口減少時代に突入し、少子高齢化が進展している中、まちの元気が次第に失われ、閉塞感がみなぎるこの状況を払拭し、矢板の活気を取り戻したい。そのためには、矢板の良さを見つめ直し、それをうまく活用した魅力あるまちづくりに取り組まなければなりません。また、それは「矢板に住んで本当に良かった」と思えるようなまちづくりをすることに尽きると思います。

矢板市にとって、今年には市制施行55周年を迎え、第2次21世紀総合計画の前期計画の中間年にあたります。また、この市長3期目の市政運営にあたり、子育て環境日本一を目指すという目標を掲げました。それは、子育て支援の施策に取り組むのはもちろん、教育、医療、福祉、生活の利便性向上、雇用の確保など、総合的に子育てしやすい環境を整備することであります。そのために、市民の皆さんの様々な思いや願いをしっかりと受け止め、具体的な政策・施策として実現していきたい。市政運営の基本を市民目線で展開するために、選挙時の公約にシンクタンク構想を掲げました。この「やいた市民会議」も、その構想の一部です。

この会議において、皆さんは市民の代表者として、今自らが感じている問題、他市町村と比較して思うこと、まちづくりへの要望等、市民の立場で提言していただきたい。それを庁内プロジェクトチームで調査研究し、政策研究会議から市長に政策として提言いただきます。



このような趣旨をご理解いただき、ご支援ご協力をお願いします。

4. 矢板版シンクタンク概要説明	
資料1に基づき横塚班長が説明。	
5. 内容	
(1) 委員の紹介	
各委員、事務局職員 自己紹介	
(2) 会長・副会長選出	
江面課長より「やいた市民会議設置要綱」を説明	
会長 澳原初男 氏、副会長 君島里美 氏 に決定	
(3) 今後のスケジュール	
今後の会議の日程は未定ですが、年4回程度開催する予定。次回の会議は、6～7月に	
開催する予定なので、都合の悪い日等は事前にご連絡ください。	
(4) その他	
6. 閉 会	